



特集

- ①平成31年度沖縄振興予算(案)
沖縄の自立的発展、県民の暮らしの向上を目指し、3,010億円を計上
- ②首里城公園(御内原エリアなど)平成31年2月1日新規開園!

写真提供：(公財)海技資格協力センター
2017 ミス日本「海の日」三上 優

ライフジャケットが 命を守ります!

平成30年2月1日以降、小型船舶の船室外の甲板上では、原則、すべての乗船者にライフジャケットを着用させることが、船長の義務になります! [平成34年2月1日以降、違反点が付されます。]

ライフジャケットが命を守る

ライフジャケット着用者の海中転落時の生存率は2倍以上です! 船長の指示がなくても積極的にライフジャケットを着用しましょう!

海中転落時の生存率
非着用: 27% 生, 73% 死
着用: 40% 生, 60% 死

適用除外等の対象例

適用除外等の対象とするためには様々な要件があります。詳しくはホームページをご覧ください。

適用除外等の対象となる例		
船室内にいる方	命綱を装着している方	防波堤内の係留船上にいる方
船外で泳ごうとする方	専用装備で海上レジャーをする方	船長が定めた安全場所にいる方
着用する必要がありません		できるだけ着用して下さい

違反すると処分あり

違反した船長には違反点数2点が課され、再教育講習を受けなければなりません! 5点以上で免許停止の対象となります!

※平成34年2月1日から違反点数の付与開始

最大6か月の免許停止

沖縄の自立的発展、県民の暮らしの向上を
目指し、3,010 億円を計上

公共事業関係経費等

世富慶IC暫定形完成イメージ

石垣港(新港地区)旅客船ターミナル完成イメージ

1	特	集	平成31年度沖縄振興予算(案)
5	特	集	首里城公園(御内原エリアなど)平成31年2月1日新規開園!
7	仕事	窓1	沖縄県における防犯機器車載タクシー(タクパト)の導入について
8	仕事	窓2	管内経済情勢報告(平成31年1月)
10	仕事	窓3	子どもの貧困などの社会的課題に「成果連動型事業」を通じて官民連携で取り組む
11	仕事	窓4	宮古島市と国有地売買契約を締結
	仕事	窓5	財務省職員が大学生に日本の財政について解説
12	仕事	窓6	第29回沖縄地域融資動向に関する情報交換会を開催しました
	仕事	窓7	沖縄県貿易協会×ICLTコラボセミナー
13	仕事	窓8	沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会
14	仕事	窓9	働き方改革・生産性向上推進運動だより
15	仕事	窓10	おきなわ花と食のフェスティバル2019
16	仕事	窓11	農業の持続可能性を確保するための取組であるGAPを正しく知ってもらい、普及につなげよう!
17	仕事	窓12	船員の特定最低賃金が改正されます
	仕事	窓13	安心・安全な貸切バスの運行の実現に向けて
18	仕事	窓14	運輸安全マネジメントセミナーを開催しました
	仕事	窓15	白タク・白バス防止キャンペーンを実施しました
19	内閣府	だより	琉球泡盛テロワールプロジェクト
20	なか	ゆくい	東京都市大学付属中学校硬式野球部が伊江島にやってきた!

本誌のタイトルについて

群星(むりぶし)とは、沖縄の方言で「昴(すばるぼし)」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれます。

表紙写真

つっつじ



つじは、濃いピンク、薄いピンク、赤や白といった様々な色の花を咲かせる、桜とともに春の花の代表とも言える花木です。

つじの咲くころになると、全国の色々な場所ですつじ祭りが開催されます。

沖縄本島北部にある東村においても、毎年開花時期にあわせて「東村つじ祭り」が開催され、3月上旬から下旬にかけて、色とりどりのつじを鑑賞することができます。（開催期間平成31年3月1日～3月24日）。

機会があれば、訪れてみてはいかがでしょうか。

那覇空港滑走路増設事業

東アジアの中心に位置する沖縄の優位性・潜在力を活かした観光客の受入体制の強化や国際物流拠点の形成などのため、二〇二〇年三月末の供用開始に向けて整備を促進します。



那覇空港新滑走路完成イメージ

農業農村整備の主要事業

- 宮古伊良部地区（国営かんがい排水事業）
事業開始…平成二一年度
主な施設…地下ダム新設二ヶ所、貯水池新設一ヶ所、揚水機場新設六ヶ所、用水路新設五五km
- 石垣島地区（国営かんがい排水事業）
事業開始…平成二六年度
主な施設…ダム改修五ヶ所、頭首工改修三ヶ所、揚水機場新設・改修六ヶ所、用水路新設・改修一〇五km
- 宮古地区（国営施設応急対策事業）
事業開始…平成二九年度
主な施設…用水路改修六・四km



宮古吐水槽

沖縄振興二括交付金

沖縄の実情に即してよりの確かつ効果的に施策を展開するため、沖縄振興に資する事業を県が自主的な選択に基づいて実施できる二括交付金として、二〇九三億円（ソフト交付金五六億円・ハード交付金五三二億円）を計上しています。



ICTを活用した町営塾（与那国町）



沖縄都市モノレールの延伸

沖縄子供の貧困緊急対策事業

沖縄の将来を担う子供達が直面する深刻な貧困に関する状況に緊急に対応するため、支援員の配置や居場所づくりを集中的に実施するため、一二億円を計上しています。



子供達に対する取組の様子

沖縄製糖業体制強化対策事業

製糖業の働き方改革を踏まえた新たな操業体制に対応するため、人材確保対策、市町村による季節工の宿舍整備などを支援し、沖縄製糖業の体制強化を推進するため、一二億円を計上しています。

駐留軍用地跡地利用の推進

市町村の跡地利用の取組を支援するなど、駐留軍用地の跡地利用の推進を図るため、三億円を計上しています。

沖縄離島活性化推進事業

厳しい自然的・社会的条件に置かれている沖縄の離島市町村の先導的な事業を支援するため、一二億円を計上しています。



植物コンテナ整備事業（南大東村）

沖縄観光防災強化支援事業

有数の観光地である沖縄において、大規模災害時に想定される観光避難民への市町村などの対応を支援するため、一〇億円を計上しています。

沖縄振興特定事業推進費

ソフト交付金を補完し、特に沖縄の自立的発展に資する事業であって、機動性をもって迅速・柔軟に対応すべき市町村などの事業を推進するため、三〇億円を計上しています。

沖縄科学技術大学院大学（OIST）

世界最高水準の教育・研究を行い、イノベーションの国際拠点となるため、新たな研究棟の建設や新規教員の採用などOISTの規模拡充に向けた取組を支援するとともに、OISTなどを核としたイノベーション・エコシステム形成の推進を図るため、一九六億円を計上しています。



第5研究棟（完成イメージ）

北部振興事業（非公共）

県土の均衡ある発展を図るため、北部地域の連携促進と自立的発展の条件整備として、産業振興や定住条件の整備などを行うため三五億円を計上しています。



東部周遊拠点施設整備事業（国頭村）完成イメージ

沖縄産業イノベーション創出事業

沖縄への企業誘致、国際物流拠点を活用した先進的なものづくり産業などの創出、生産性を向上させる産業人材の育成などを通じた産業イノベーションを推進するため、一二億円を計上しています。

沖縄健康医療拠点整備経費

西普天間住宅地区跡地において、琉球大学医学部及び同附属病院の移設を中心とする、国際性・離島の特性を踏まえた、沖縄健康医療拠点の整備を推進するため五九億円を計上しています。



首里城公園（御内原エリアなど） 平成31年2月1日新規開園！

国営沖縄記念公園（首里城地区）は、平成4年度に正殿などの開園を行い、その後、復元施設の整備とともに順次、開園エリアを拡大してきました。復元整備事業の経緯を表－1に示します。今回、平成31年2月1日の御内原エリアなど、面積約1.1haの開園により、首里城の復元整備はひとつの区切りを迎えます。

※御内原（おうちばら）とは…国王とその家族、女官達が生活した男子禁制の「生活・儀礼空間」



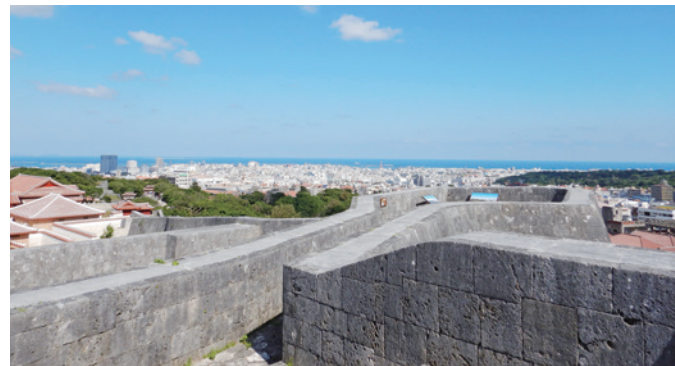
〔世誇殿（よほこりでん）〕

平常は王女の居室として使われていました。また、国王が死去した際に世子を新しい国王とするための即位の儀式を行う特別な建物でもありました。



〔後之御庭（くしのうな）〕

後之御庭は首里城正殿前の広間（御庭）に対して、後ろの広場という意味です。往時の後之御庭は、正殿裏での祭祀・儀礼のための広場及び生活の場であったと考えられています。



〔東のアザナ（あがりのあざな）〕

城郭の東側に築かれた物見台です。場内で最も高く、往時は城下に時を知らせる役割もありました。



〔美福門（びふくもん）〕

内郭に建てられた門で、継世門（けいせいもん）が建てられる前までは、美福門が首里城の正門であったとする説があります。

平成31年度内閣府沖縄担当部局予算(案)

(単位：百万円、%)

事 項	平成31年度予算(案)	前年度予算額	対前年度比	
			増△減額	比率
1 公共事業関係費等	142,045	142,017	28	100.0
(1) 公共事業関係費	134,049	134,021	28	100.0
(2) 沖縄教育振興事業費	7,996	7,996	0	100.0
2 沖縄振興交付金事業推進費	109,333	118,780	△ 9,447	92.0
(1) 沖縄振興特別推進交付金	56,116	60,840	△ 4,724	92.2
(2) 沖縄振興公共投資交付金	53,217	57,940	△ 4,723	91.8
3 沖縄科学技術大学院大学学園連経費	19,622	20,307	△ 685	96.6
(1) 沖縄科学技術大学院大学学園運営費	17,507	15,638	1,870	112.0
(2) 沖縄科学技術大学院大学学園施設整備費	2,115	4,669	△ 2,555	45.3
4 沖縄健康医療拠点整備経費	5,882	305	5,577	1,928.5
5 沖縄北部連携促進特別振興事業費	3,450	2,572	878	134.1
6 沖縄産業イノベーション創出事業費	1,342	1,366	△ 23	98.3
(1) 沖縄国際物流拠点活用推進事業費	939	939	0	100.1
(2) 沖縄型産業中核人材育成事業費	333	367	△ 34	90.8
(3) 沖縄力発見創出事業費	70	60	10	116.7
7 沖縄子供の貧困緊急対策経費	1,309	1,202	106	108.8
8 沖縄離島活性化推進事業費	1,200	1,153	47	104.1
9 沖縄製糖業体制強化対策事業	1,173	244	929	480.7
10 沖縄観光防災力強化支援事業費	950	0	950	(皆増)
11 沖縄・地域安全パトロール事業費	868	868	0	100.0
12 沖縄の人材育成事業	272	210	62	129.7
13 駐留軍用地跡地利用推進経費	255	1,255	△ 1,000	20.3
14 交通環境創造事業推進調査費	125	0	125	(皆増)
15 沖縄酒類製造業の自立的経営促進事業	112	33	79	337.7
16 鉄軌道等導入課題詳細調査	100	100	0	100.0
17 戦後処理経費	3,083	3,140	△ 57	98.2
(1) 不発弾等対策経費	2,961	2,962	△ 1	100.0
(2) 対馬丸遭難学童遺族給付経費	3	3	0	100.0
(3) 対馬丸平和祈念事業経費	21	21	0	99.9
(4) 位置境界明確化経費	9	9	0	101.4
(5) 沖縄戦関係資料閲覧室事業経費	8	13	△ 5	58.5
(6) 所有者不明土地問題の解決に向けた実態調査	82	132	△ 51	61.7
18 沖縄振興開発金融公庫経費	895	895	0	100.0
(1) 沖縄振興開発金融公庫補給金	495	595	△ 100	83.2
(2) 沖縄振興開発金融公庫出資金	400	300	100	133.3
19 沖縄振興推進調査費	50	62	△ 12	81.0
20 交通モード多様化事業推進調査費	10	50	△ 40	20.0
21 交通環境イノベーション事業推進調査費	0	300	△ 300	(皆減)
22 沖縄振興特定事業推進費	3,000	0	3,000	(皆増)
23 その他の経費	5,956	6,174	△ 218	96.5
合 計	301,034	301,034	0	100.0

※四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

※平成31年度内閣府沖縄担当部局予算(案)については、以下の内閣府ホームページもご参照ください。

<https://www8.cao.go.jp/okinawa/3/33.html>

内閣府 沖縄担当部局の予算

検索

沖縄県における防犯機器 車載タクシー(タクパト)の 導入について



【総務部】

NO.1

タクパトについて

沖縄総合事務局では、沖縄県における犯罪抑止対策の一環として、地域の安全・安心の確保に寄与することを目的に「沖縄・地域安全パトロール隊」による緊急防犯パトロール(青パト)を実施しています。

さらに、今般、沖縄県における犯罪抑止対策の新たな取組として、一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会及び沖縄県警の協力のもと、防犯機器車載タクシー(通称・タクパト)を導入しました。

タクパトは、県内を走行するタクシーにドライブレコーダーや通信機能を持たせた車載コンピュータシステムを搭載して、走行中に事件・事故に遭遇した際、タブレットの画面をワンタッチするだけで画像や位置情報を県警に通報することができ

ます。
このような走行中のタクシーから車載コンピュータを使って事件・事故の通報の迅速化を図る取組は、全国で初めてです。



効果

タクパトを導入することにより、左記の効果が見込まれます。

- 事件・事故の通報の迅速化
走行中のタクシーが不審者などを発見した際にワンタッチで位置情報などを通報することができ、事件・事故の通報の迅速化が図れます。
- 犯罪抑止効果
タクパトの取組について、広く周知することにより、「タクシーが事件・事故を見ている」ことで犯罪抑止効果が期待できます。
- 事件捜査に寄与
最近の事件捜査において、防犯カメラなどの画像が事件解決に大きく寄与していることから、タクパトの画像を県警に提供することにより、事件捜査に寄与することができ

現在、約400台のタクシーで、沖縄本島中南部地域を中心に試験的に運用していますが、今後、増車して、先島地域を含む沖縄県全域に拡大して運用する予定です。

当局では、引き続き、沖縄県における犯罪抑止対策に努めてまいります。

総務部 安心・安全対策推進官
098-866-10066

開園記念式典 (平成31年1月27日)

平成31年1月27日(日)に、宮腰内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)及び議員、整備事業に携わった工事関係者など、約200名が参列するなか、後之御庭において晴やかに記念式典が執り行われました。



多くのメディアに
取り上げられました!



【首里城復元整備事業のあゆみ】

表-1

年度		事項
和暦	西暦	
昭和 61	1986	沖縄県が「首里城公園整備計画調査」を策定。 国営公園区域について「国営沖縄記念公園首里地区(仮称)」として事業着手。 首里城公園(17.8ha)が都市計画決定される。
平成 元	1989	首里城正殿建築工事に事業着手。
平成 4	1992	首里城地区一部開園(供用面積 1.7ha)。 正殿、瑞泉門、漏刻門、広福門が完成。 奉神門、南殿・番所、北殿、御庭が完成。
平成 9	1997	歓会門、久慶門内側周辺供用(0.1ha 追加)。 首里森御嶽完成。
平成 10	1998	継世門完成。
平成 11	1999	白銀門完成。 二階御殿完成。系図座・用物座完成。 供屋(万国津梁の鐘)完成。日影台完成。
平成 12	2000	右掖門完成。
平成 15	2003	京の内供用(0.7ha 追加)。
平成 18	2006	書院・鎖之間供用(0.1ha 追加)。
平成 20	2008	書院・鎖之間庭園供用(0.1ha 追加)。
平成 22	2010	淑順門供用(0.1ha 追加)。
平成 25	2013	黄金御殿・寄満・近習詰所、奥書院供用。
平成 26	2014	奥書院庭園供用(0.1ha 追加)。
平成 27	2015	銭蔵跡、厩・係員詰所跡供用(0.3ha 追加)。
平成 28	2016	北城郭園路広場供用(0.4ha 追加)。
平成 30	2018	御内原エリア、東のアザナエリア、継世門・美福門エリア供用(1.1ha 追加)。

※赤: 国が整備を実施 青: 国以外が整備を実施

沖縄県の観光をリード

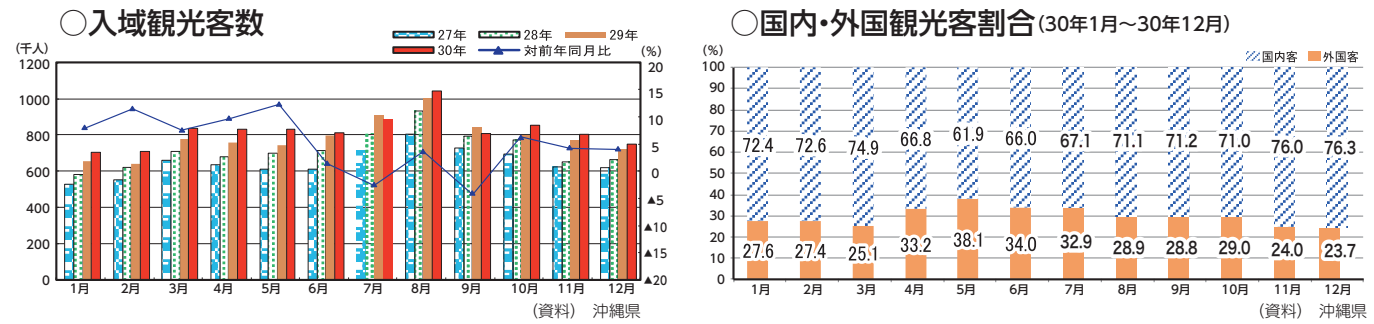


現在、首里城公園は、年間約280万人が訪れる沖縄観光の重要な拠点となっています。御内原などエリアの新規開園は、沖縄観光振興の追い風となることが期待されています。

観光

前回(30年10月判断)	今回(31年1月判断)	前回比較
拡大のテンポが緩やかになっている	拡大している	▲

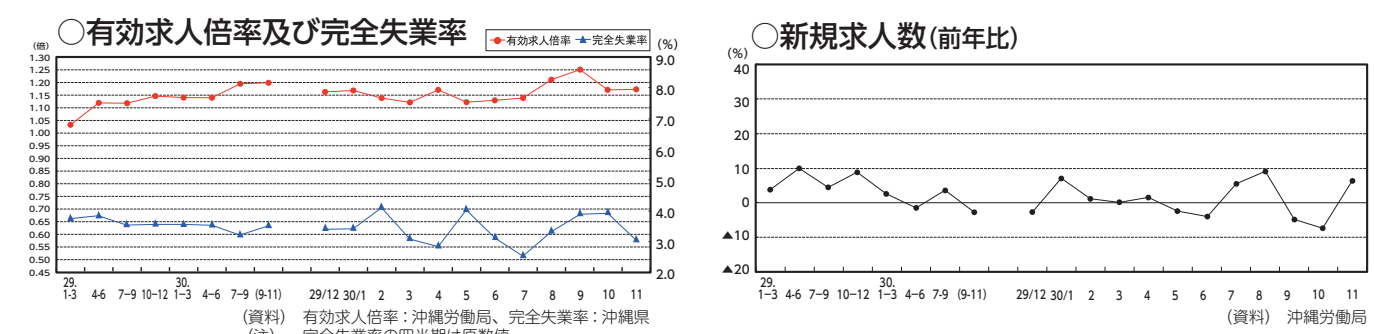
入域観光客数は、国内客が個人旅行需要や一般団体旅行などの団体需要により増加しており、外国客はクルーズ船の寄港数は減少したものの、航空路線拡充などにより増加している。ホテルの客室単価は前年と同水準となっており、客室稼働率は前年を上回っている。このように、観光は拡大している。



雇用情勢

前回(30年10月判断)	今回(31年1月判断)	前回比較
改善している	改善している	→

有効求人倍率は高水準で推移している。新規求人数、新規求職者数(新規求職申込件数)ともに前年を下回っている。雇用保険受給者実人員は前年を下回っている。このように、雇用情勢は改善している。



【その他の項目の判断】

設備投資

→

「30年度は前年度を上回る見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」30年10～12月期
○製造業は、窯業・土石などで減少するものの、食料品などで増加することから、全体では前年度を24.2%上回る見込みとなっている。
○非製造業は、運輸・郵便、卸売・小売などで減少するものの、サービスなどで増加することから、全体では前年度を1.9%上回る見込みとなっている。

企業収益

→

「30年度は減益見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」30年10～12月期
○製造業では、窯業・土石などが減益となることから、全体で15.7%の減益見込みとなっている。
○非製造業では、情報通信などが増益となるものの、運輸・郵便、卸売・小売などが減益となることから、全体で4.1%の減益見込みとなっている。

企業の景況感

→

「現状判断は「上昇」超幅が拡大、先行きは「上昇」超幅が拡大後、「上昇」と「下降」の均衡となる見通し」(全産業)「法人企業景気予測調査」30年10～12月期
○企業の景況判断BSIは、全産業では、「上昇」超幅が拡大している。先行きは、「上昇」超幅が拡大後、「上昇」と「下降」の均衡となる見通しとなっている。

住宅建設

→

「前年を下回っている」
○新設住宅着工戸数は、貸家で前年を上回っているものの、持家、分譲で前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

公共事業

→

「前年を下回っている」
○公共工事前払金保証請負額(30年4～12月累計)は、前年を下回っている。

生産活動

→

「緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる」
○金属製品は前年を上回っているものの、食料品、窯業・土石、化学・石油製品は前年を下回っている。このように、生産活動は緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる。

管内経済情勢報告(平成31年1月)

仕事の窓

～管内経済は、拡大している～

【総括判断】

前回(30年10月判断)	今回(31年1月判断)	前回比較
拡大している	拡大している	→

(注) 31年1月判断は、前回30年10月判断以降、31年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

【判断の要点】

個人消費は、百貨店・スーパーの販売額が前年を上回っているほか、コンビニエンスストアの販売額も堅調に推移するなど、拡大している。観光は、入域観光客数が増加するなど、拡大している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移しているなど、改善している。

先行き

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、沖縄振興策などを背景として景気が拡大していくことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外景気の下振れリスク、為替、労働力需給の動向などについて留意する必要がある。

【各項目の判断】

個人消費

前回(30年10月判断)	今回(31年1月判断)	前回比較
拡大している	拡大している	→

百貨店・スーパー販売額は、新規出店効果などから前年を上回っている。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果のほか、米飯類や飲料が堅調なことなどから前年を上回っている。ドラッグストア販売額は、医薬品や化粧品などが好調であることから前年を上回っている。新車販売台数は、新型車効果などから前年を上回っている。中古車販売台数は、販売促進効果などから前年を上回っている。家電販売額は、4Kテレビなどが好調であることから前年を上回っている。このように、個人消費は拡大している。

○百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア販売額、新車登録・届出台数(前年比)



笹本財務部長と下地宮古島市長との調印式の様子

平成30年12月25日、宮古島市から、宮古島市総合庁舎及び保健センター敷地として要望のあった国有地（約三万三千平方メートル）について、宮古島市と宮古財務出張所において売買契約を締結しました。



総合庁舎の完成イメージ(宮古島市提供資料)

総合庁舎は平成31年4月に建設工事が着工され、2021年4月に開庁が予定されております。

財務部財務課広報担当
☎098-866-0091



講師の武田係長

1月24日、財務省主計局調査課武田係長を講師として招き、琉球大学において、「日本の財政の現状と課題」についての特別講義を開催しました。

財務部ではこれからも財政や経済について理解を深めていただくために、特別講義や講演会などを積極的に開催していきたいと考えておりますので、講師派遣のご希望がございましたら財務課広報担当までご相談下さい。

財務部財務課広報担当
☎098-866-0091



講義の様子



【財務部】

宮古島市と

国有地売買契約を締結

～エリアマネジメント

宮古島市～

NO.4



【財務部】

財務省職員が大学生に

日本の財政について解説

～日本の財政の現状と課題～

NO.5

子どもの貧困などの社会的課題に「成果連動型事業」を通じて官民連携で取り組む

-SIB沖縄セミナーを開催、沖縄県成果連動型事業推進プラットフォームの設置-

社会保障関係費の増加により財政がひっ迫している地方公共団体への支援などを目的に、SIB沖縄セミナーを開催(31年2月1日)、今後の成果連動型事業推進のためのプラットフォームを設置しました。



【講師のケイスリー(株)幸地代表】

地方公共団体は、国から長期・低利の資金(財政融資資金)を借り入れており、財務部は、貸し手として地公体の財務内容を把握し、財務健全化に関するアドバイスなどを行っています。

政府においては、平成30年6月15日に閣議決定された「未来投資戦略2018」において、SIBを含む成果連動型の民間委託を国として推進していく旨が明記されており、八王子市の大腸がん検診

日本	導入済み	がん健診受診率向上	糖尿病重症化予防
	実証事業実施	若年就労支援	認知症・介護予防
海外	検討中	薬剤処方適正化	シングルマザー起業支援
	その他実施分野	受刑者再犯防止	依存症克服支援(酒・薬物等)

※その他様々な分野に応用可能
【導入可能性のある分野】



【質疑応答の様子】

受診率向上の成果事例などが出て来ています。

プラットフォーム参加者からは、「得られた情報は庁内関係各署へ還元していきたい」などのほか、次回の会議への期待などの意見が聞かれました。

プラットフォームは、今後の成果連動型事業の組成支援などの枠組みとして「沖縄県成果連動型事業推進プラットフォーム」を中心として活動



【プラットフォームの様子】



【財務部・経済産業部】

NO.3

ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)とは

第一部 SIBを含む成果連動型事業の周知

第二部 沖縄県成果連動型事業推進プラットフォームの設置

第二部では、今回のセミナーを次に繋げることを目的に、成果連動型事業に関心を寄せる地公体を中心に、当局財務部及び経済産業部とケイスリー(株)の幸地代表において意見交換を行いました。

沖縄スポーツ・ヘルスケア産業 クラスター推進協議会



2019沖縄健康サミット～沖縄の「健康経営」を考える～を開催しました

【経産部】

仕事の窓 NO.8

基調講演では経済産業省ヘルスケア産業課・西川課長とNPO法人健康経営研究会・



経済産業省ヘルスケア産業課 西川和見課長の講演

平成31年1月21日、当局及び沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会が主催する「2019沖縄健康サミット」が、那覇第2地方合同庁舎1号館で開催されました。今回の「沖縄健康サミット」では、経営戦略の視点から従業員と家族の健康増進や職場環境の改善を図ることで、個人・組織の生産性や企業価値の向上に繋げる「健康経営」をテーマに、国の施策や方向性を紹介するとともに、県内外での実施事例を踏まえ、沖縄における「健康経営」にどのように向き合い、取り組むのか、さらには沖縄の健康長寿実現のためにどう行動すべきなのか、参加者の皆様とともに議論しました。



NPO法人健康経営研究会 岡田邦夫理事長の講演

岡田理事長をお迎えしご講演いただきました。西川課長には、「健康経営とヘルスケア産業の方向性について」と題し、日本における高齢化の進展や生涯現役社会に向けた方向性、「健康経営」の広がりについてご講演いただきました。岡田理事長には、「これならできる健康経営」と題し、なぜ、今、健康経営なのかについて、少子高齢化による人手不足や労働者の健康問題・労働災害など企業が抱える課題に触れながら、経営者の決断の重要性についてご講演いただきました。健康経営の取組は、企業が抱える将来的なリスクの回避にも繋がるので、できることから実践して欲しい」との講師のメッセージに対し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



パネルディスカッションの様子

ア産業クラスター運営会議委員でもある高崎尚樹氏(株式会社ルネサンス取締役専務執行役員)をモデレータに迎え、沖縄労働局、株式会社沖縄銀行、沖縄セルラー電話株式会社、沖縄トランスオーシャン航空株式会社のパネラーの皆様から「健康経営」の実践事例をご紹介いただきました。また、参加者との質疑応答では、沖縄県内の行政機関や企業が自らのコトとして「健康経営」に取り組む具体的な方法について活発な意見交換がありました。



企業ブースで健康管理の最新技術を体験

沖縄健康サミットの併設イベントとして開催された「スポクラMeetUP!」では、「健康経営」にもつながる「スポーツ×ヘルスケア」をテーマにビジネス展開している企業などの皆様からのPR、名刺交換会を実施しました。当イベントには13機関がPR発表し、今後の事業展開や新たな連携・融合について交流を深めました。

内閣府沖縄総合事務局では、沖縄における「健康経営」の普及・啓発、スポーツ・ヘルスケアを基軸とした新事業の創出、産業振興に引き続き取り組んでいきます。

経済産業部企画振興課
担当：大城、仲西、波照間

098-866-1727



【財務部】

第29回沖縄地域融資動向に関する
情報交換会を開催しました

NO.6

平成30年12月21日に、中小企業への資金供給の円滑化について「借り手」と「貸し手」の公正かつ的確な意思疎通を図るとの趣旨で、第29回沖縄地域融資動向に関する情報交換会を開催しました。

情報交換会は金融、経済産業の当局と、地域金融機関及び中小企業、小規模事業者を支援する団体から構成されています。

最初に、財務部金融監督課から「金融行政方針」などについて説明を行い、経済産業部中小企業課より「平成31年度中小企業関係概算要求」について説明を行いました。

その後は金融機関及び各支援団体から、中小企業、小規模事業者の動向や、融資・保証の動向、苦情相談の受付状況について報告がありました。双方の立場から忌憚のない意見交換が行われました。



情報交換会の様子

財務部金融監督課

098-866-10095

沖縄総合事務局では、沖縄を拠点にした海外展開を促進する取り組みの一つとして、サプライチェーン全体の最適化を目指す貿易人材育成事業を沖縄県貿易協会に委託、実施しています。ICLT^{※1}が沖縄で開催される機会に平成30年11月に同協会と共催して人材育成事業に参加している企業など約90名余が参加するコラボセミナーを那覇市内で開催しました。

流通科学大学の森隆行教授は、「アジアにおける日系企業の進出について」その他、九州大学、琉球大学、タイ王国、オーストラリアの各大学の教授からそれぞれの研究分野に沿ったテーマで講演をいただきました。

台湾における食文化の違いや様々な物流事情など日本(沖縄)発アジア諸国への食品流通の現状や課題、今後の可能性、日本企業の進出状況などについて講演されました。参加者からは、海外ビジネスのリスク、チャンスなどビジネスの海外展開が身近に感じることができたなどの感想が寄せられました。



セミナーの様子 於：沖縄県自治会館

沖縄県貿易協会ホームページから

<https://okinawa-trade.or.jp/>



※1 ICLT (International Conference on Logistics & Transport) 物流・輸送に関する国際会議。物流を専門とする大学教授などが定期的に会合している。



【経済産業部】

沖縄県貿易協会×

ICLTコラボセミナー

「アジアとの結びつきの中で沖縄経済発展の可能性を探る」

NO.7

おきなわ花と食のフェスティバル2019

「沖縄県農林漁業賞」、「沖縄、ふるさと百選」、「園芸フェア品評会・表彰式」

本フェスティバルは、地産地消をテーマに県産農林水産物・加工食品の魅力を発信するイベントで、今年で14回目の開催です。



【農水部】

NO.10



祝辞を述べる
仲程倫由沖縄総合事務局次長

の認定式が行われ、当局からは仲程次長が出席し、局長祝辞を述べました。

○「沖縄県農林漁業賞」、「沖縄、ふるさと百選」

各種表彰式

今年1月26日、27日に奥武山運動公園で開催されました。新鮮な農産物の特価販売や品評会、県産食材を使った加工品のナンバーワンを決める「島ふくどグランプリ」、各種体験教室など多くの催し物が行われ、両日で約13万人の来場者で賑わいました。

花と食のフェスティバル

○沖縄県農林漁業賞受賞者

部門	受賞者名	市町村	主な品目
農産	渡久山 毅	宮古島市	さとうきび
	平良 邦夫・平良 たま子	石垣市	パインアップル
	石垣島果樹生産出荷組合	石垣市	マンゴー
園芸	國仲 和男	宮古島市	かぼちゃ、ゴーヤー、さやいんげん
	神里 賢	糸満市	小ギク
	新垣 勝信	うるま市	洋ラン
畜産	JA石垣牛肥育部会	石垣市	肉用牛肥育
土地改良	豊見城市饒波地域資源保全の会	豊見城市	農業農村整備事業の推進と管理
林業	与儀 昌樹	宮古島市	木工製品の製作販売
漁業	渡名喜 盛二	久米島町	モズク養殖業、パヤオ漁業
農山漁村活性化	津嘉山 千代	宮古島市	農産物(野菜)の生産、加工品づくり
	やんばる朝市かあちゃんの会	名護市	朝市会の開催などによる地産地消

○「沖縄、ふるさと百選」認定団体

部門	団体名	市町村	認定名
集落	米須自治会	糸満市	「もの・こと・ひと」が融和したふるさとづくり
	喜屋武自治会	糸満市	伝統文化を次世代へ繋ぐふるさとづくり
	伊良皆自治会	読谷村	「伊良皆アジビで思いを繋ぐ」ふるさとづくり
生産	いけま福祉支援センター	宮古島市	アマイ・ウムクトゥを学び活かしたふるさとづくり
	恩納村農山漁村生活研究会	恩納村	地産地消促進・食文化継承・生きがい探しのふるさとづくり
	JA沖縄ゆんた支店女性部	読谷村	規格外野菜を使ってふるさとづくり

○園芸フェア品評会等受賞者(一部ご紹介)

部門	賞	受賞者名	品目名
花き	農林水産大臣賞	並里 拓実	小ぎく
	農林水産省生産局長賞	吉永 幸夫	タニワタリ
	沖縄総合事務局局長賞	島袋 勉	スプレーギク
フラワーデザイン	農林水産大臣賞	宮良 友綺	ブライダル部門
	農林水産省生産局長賞	平仲 健	さやいんげん(関東)
	沖縄総合事務局局長賞	比嘉 広文	ミニトマト
野菜	農林水産省生産局長賞	池間 一男	とうがん
	沖縄総合事務局農林水産部長賞	新垣 直也	トマト
	農林水産省生産局長賞	宮城 調義	タンカン
果樹	沖縄総合事務局局長賞	照屋 正和	フルーツシークワサー
	沖縄総合事務局農林水産部長賞	宮城 俊次	タンカン
	沖縄総合事務局農林水産部長賞	外間 順子	マンゴー
マンゴーコンテスト	沖縄総合事務局農林水産部長賞	外間 順子	マンゴー



農家が丹精込めて生産した花などが所せましと並び園芸フェア会場

098186611653
農林水産部生産振興課

働き方改革・生産性向上推進運動だより

平成31年4月から、働き方が変わります!



【経済産業部】

NO.9

働き方が変わります!

働き方改革関連法が平成31年4月から順次施行され、年次有給休暇の付与義務や、時間外労働の上限規制の導入など、中小企業にも働き方に関する新たな制度への対応が求められます。働き方改革の実現には、生産性の向上が必要で、しかしながら、沖縄県の労働生産性は全産業計で全国最下位となっており(「平成28年経済センサス活動調査・事業所等に関する集計」)、全国平均の約7割程度の水準です。そのため沖縄総合事務局では、「働き方改革・生産性向上推進運動」を通じて、沖縄県内の中小企業・小規模事業者の、働き方改革・生産性向上の取り組みを支援しております。

沖縄働き方改革・生産性向上推進協議会の開催



第1回沖縄働き方改革・生産性向上推進協議会

平成30年12月25日(火)に、第一回沖縄働き方改革・生産性向上推進協議会が那覇第二地方合同庁舎一号館で開催されました。能登 靖 沖縄総合事務局局長が出席し、働き方改革・生産性向上推進運動を、協議会として展開していくことを報告しました。協議会では、政労使22機関による働き方改革・生産性向上に向けた共同宣言を採択しました。

活用しよう! 施策ガイドブック

「人材の定着のため、働き方改革に取り組みたいが、どう進めればよいかわからない」「業務を効率化し生産性向上を図りたい」。そんな沖縄県内の中小企業・小規模事業者のために、働き方改革・生産性向上のための国や沖縄県、支援機関の施策を一冊にまとめた「働き方改革・生産性向上のための施策ガイドブック」を発行しています。

「沖縄県働き方改革推進支援センター」では、就業規則の作成方法や賃金規定の見直しなど、無料で相談や派遣を受けることができます。また、老朽化した設備を更新し省力化を図る際、設備取得に係る税負担を軽減することがあります。



詳しくはこちら↓
問合わせ先
沖縄総合事務局経済産業部中小企業課
098186611755
鶴見、宮里

【お知らせ】沖縄県の最低賃金について
沖縄県地域別最低賃金が、平成30年10月3日から時間額762円に改正されました

チェック
しなくちゃ。
最低賃金

今年も変わります!

沖縄県 最低賃金

平成30年
10月3日から
<時間額> 762円

25円
UP

雇用主も、労働者も、必ず確認。最低賃金。

詳しくはこちら↓



【農林水産部】

農業の持続可能性を確保するための 取組であるGAPを正しく知ってもらい、 普及につなげよう!

NO.11

GAP (Good Agricultural Practice=農業生産工程管理)は、農業において食品安全や環境保全などの持続可能性を確保するための取組で、今後、輸出を含め国内外の様々な取引で必要とされてきます。

このため、農林水産省では、2020年までにGAP指導体制の充実、流通・小売などフードチェーンにおける意識の浸透を目指しています。

沖縄総合事務局が、平成30年12月3日に那覇第2地方合同庁舎1号館大会議室において、「GAP講演会(GAPの普及推進に向けた講演会及びGAPの価値を共有するフードチェーンパートナー会)」を開催したところ、生産者、実需者、教育関係者、行政機関など84名の参加がありました。

第一部では、公益社団法人中央畜産会から畜産GAPの取組をパソコン上で点検できるGAP

取得チャレンジシステムについて、GAP総合研究所から国際的なGAP認証基準に承認されたASIA GAPの実践的な管理手法について講演がありました。

また、第二部では、農林水産省担当者からグローバル時代のGAPの意義と展望を紹介したあと、コストコホールセールジャパン株式会社から流通・小売業者からみた消費者の動向やGAPの価値について講演がありました。

参加者からは、「GAP導入を考えたい」、「取引先の拡大にGAPは必要」、「小売業者の話が聞けて勉強になった」などの感想が寄せられ、普及につなげることができました。

農林水産部生産振興課
☎098-866-1653



講演会の様子



当日は多くの方が参加しました



【運輸部】

船員の特定最低賃金が 改正されます

二業種とも1,300円引き上げ

NO.12

平成30年12月20日、沖縄地方交通審議会(会長 宮里猛)から沖縄総合事務局長(能登靖)に対して「沖縄内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金」及び「沖縄海上旅客運送業最低賃金」の改正に関する答申が行われました。現在、官報公示が行われており、今年度中には答申どおりに改正される見込みです。

船員の最低賃金は、最低賃金法の特例規定により、業種・航行区域・総トン数の区分別に国土交通大臣又は地方運輸局長などにより月額で決定されますが、沖縄管内では「沖縄内航鋼船運航業及び木船運航業」及び「沖縄海上旅客運送業」の二業種の最低賃金が設定されています。

運輸部 船舶船員課

☎098-866-1838

沖縄総合事務局長決定に係る船員最低賃金【改正予定】						
業 種 別		職 種 等		最低賃金額	引き上げ額 (増加率)	
沖縄内航鋼船 運航業及び 木船運航業	職 員	月 額		248,450 円	1,300 円 (0.53%)	
		月 額 (ただし、船舶職員養成施設のうち 特定の養成施設の課程を修了した 後の勤務期間が、当該課程ごとに 定める期間に満たない者)*		232,000 円	1,300 円 (0.56%)	
	部 員	月 額(海上経歴3年以上)		189,850 円	1,300 円 (0.69%)	
		月 額(海上経歴3年未満)		180,550 円	1,300 円 (0.73%)	
	沖縄海上旅客 運送業	職 員	月 額		245,350 円	1,300 円 (0.53%)
		部 員	月 額		183,900 円	1,300 円 (0.71%)

○上記の業種に適用する船舶の範囲 (適用地域：沖縄総合事務局管内)

1 沖縄内航鋼船運航業及び木船運航業
国内各港間のみを航海する船舶のうち、平水区域を航行する船舶、沿海区域を航行区域とする総トン数100トン未満の船舶、木船の船舶所有者

2 沖縄海上旅客運送業
旅客運送の用に供する船舶のうち、平水区域を航行区域とする船舶、沿海区域を航行区域とする総トン数100トン未満の船舶、100トン以上の船舶でその航行区域が平水区域から当該船舶の最大速度で2時間以内に往復できる区域内に限定されている (限定沿海区域) 船舶の船舶所有者



【運輸部】

安心・安全な貸切バスの 運行の実現に向けて

NO.13

国土交通省では、平成28年1月の長野県軽井沢スキーバス事故を受け、貸切バス事業者への監査方針と行政処分基準に関する通達などを改正し、処分基準を大幅に強化しました。

また、近年、バスなど事業用自動車運転者の意識喪失などによる健康起因事故が相次いで発生していることから、同省は、自動車運送事業者の事業団体などに対して、健康管理マニュアルなどを活用した運転者の健康管理を適切に実施することを要望する通達を発するとともに、その対策に関し、強化を図っているところです。



街頭監査の様子②



街頭監査の様子①

運輸部では、一般臨店監査のほか、運転者の健康状態、点呼の実施状況など輸送の安全確保の状況を確認するため、今年度もGW及び年末年始を集中期間と定め、街頭監査を実施しました。

街頭監査の結果、アルコールチェックの未実施、運行指示書の記載事項の不備、車体表示なしなどの法令違反が確認され、改善指導及び指摘事項確認監査を行いました。

運輸部としては、今後とも一般臨店監査及び街頭監査を通して安心・安全な貸切バスの運行の実現に努めてまいります。

運輸部 監査指導課

☎098-866-1837

琉球泡盛テロワールプロジェクト ～泡盛原料米の県内生産を推進～

沖縄の象徴的な文化の1つである琉球泡盛は、主にタイからの輸入米を用いて製造されていますが、今後、泡盛の海外への輸出を進めていくためには、泡盛のブランド価値を高め、その魅力を最大限にPRしていく、地域に根ざした原料調達、いわゆる「テロワール」を実現することが極めて重要な課題となっています。

このため、泡盛の原料となる長粒種米の沖縄県内での生産を進めることを目的に、平成31年1月27日、沖縄総合事務局において、県内の米産地の市町村長や生産者団体、泡盛製造業者や行政関係者など約130名の参加を得て、「琉球泡盛製造のための長粒種米の生産に係る説明会」を開催しました。



沖縄の水田

本説明会では、宮腰大臣から「琉球泡盛テロワールプロジェクト」の立ち上げについて説明し、その後、農林水産省、沖縄県などの担当者から長粒種米の試験栽培の取組状況や長粒種米を栽培した場合の生産者の収入試算などについて説明がありました。

参加者からは、原料米の栽培技術の確立、安定供給などについて意見がありました。

今後は、プロジェクトチームにより、泡盛製造業者の需要と生産者の供給をすり合わせるマッチングを行い、プロジェクトを進めていくこととしています。



琉球泡盛テロワールプロジェクトについて
説明する宮腰大臣

宮腰大臣の沖縄訪問

1月26～27日：
沖縄本島・久米島訪問



車海老養殖場(久米島)



海ぶどう養殖施設(久米島)

平成31年1月26日から27日にかけて、宮腰沖縄担当大臣は沖縄本島と久米島を訪問し、琉球泡盛製造のための長粒種米の生産に係る説明会、琉球泡盛海外輸出プロジェクト会合、首里城公園(御内原地区など)開園記念式典に出席したほか、久米島の製糖工場や海洋深層水関連施設などを視察しました。

また2月2日から3日には、北大東島及び南大東島を訪問し、南大東漁港(北大東地区)開港式に出席したほか、さとうきび園場や水利施設、製糖工場、植物コンテナ工場などを視察しました。

なお、宮腰大臣は大臣就任以前も含めて、通算15回目となる南北大東島訪問となりました。

2月2～3日：
北大東島・南大東島訪問



南大東漁港(北大東地区)開港式



大東糖業(株)工場(南大東島)

☆「OKINAWA41」にご注目ください☆

内閣府で運営しているウェブサイト「OKINAWA41」では、フォトコンテストや現地レポートなどで、沖縄の知られざる魅力を発信しています。来たる3月22日には、フォトコンテストなどの表彰式を東京にて開催予定です！「OKINAWA41」へは右のQRコードか、URL(<https://www.okinawa41.go.jp/>)からどうぞ。



1日目は、事業者における安全管理体制の構築・改善に係る取り組みのねらいとその進め方に関するガイドラインの説明がありました。2日目は、事故の再発防止・未然防止を目的として、

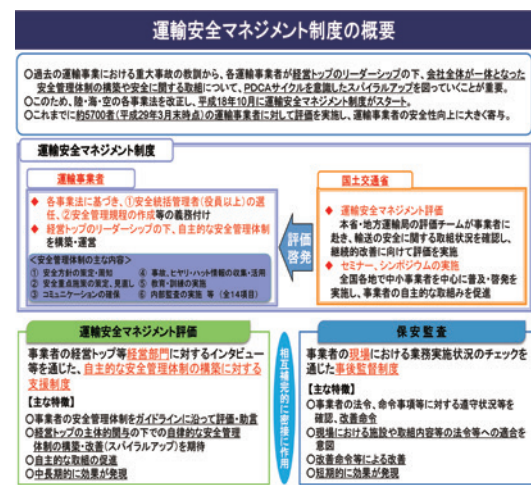
当局では、運輸安全マネジメント制度の普及・啓発、浸透・定着に向けた取組として、運輸事業者の安全担当者を対象とした「運輸安全マネジメントセミナー」を1月28日、29日に当局において開催しました。本セミナーには、国土交通省大臣官房運輸安全監理官付 大江主任運輸安全調査官を招いて説明していただきました。

現場で発生した事故、ヒヤリ・ハットなどの情報を収集・活用し、対策を講じるPDCAサイクルによるリスク管理の説明がありました。両日ともセミナーには多くの運輸事業者が参加され、参加者からは「セミナーに参加して、これまで理解出来なかった部分も理解することが出来た」「今後もセミナーを継続してほしい」などの意見が寄せられました。

当局では、今後も運輸安全マネジメントセミナーを通じて、安心安全の運輸業界の発展を支援して参ります。

運輸部 総務課

098-866-1183



石垣港でのチラシ配布の様子

2018年の沖縄県へのクルーズ船の寄港回数は、528回となりました。全国と比較しても那覇港2番目(243回)、平良港5番目(143回)、石垣港9番目(107回)となっており、都道府県別では国内第1位のクルーズ船寄港地となっています。

一方、クルーズ客を対象に、道路運送法の許可を受けず自家用車で旅客を有償運送する違法な白タク・白バス行為も見受けられます。白タク・白バスは、任意保険加入の義務

「白バス・白タク」は違法であり危険です！

白バス・白タクを利用した場合、警察から職務質問を受ける場合があります！



白バス・白タクの事故でけがをした場合、賠償が受けられない恐れがあります！

白バス・白タクが安全面に不安

項目	バス・タクシー	白バス・白タク
運転手	プロドライバー	プロでないドライバー
運転前のアルコールチェック	あり	なし
事故時の責任	会社が対応	運転手任せ
保険料額	最低8,000円以上	なし

安全・安心な旅行は、国の許可を受けたバス・タクシーをご利用ください！

那覇クルーズ促進連絡協議会	宮古島クルーズ客船誘致・受入環境整備連絡協議会	石垣市クルーズ客船受入連絡協議会
内閣府沖縄総合事務局運輸部	沖縄県警察本部	

白タク・白バス違法広報チラシ(英語・繁体字・簡体字・韓国語の4言語を作成)

【運輸部】

運輸安全マネジメントセミナーを開催しました

NO.14

【運輸部】

白タク・白バス防止キャンペーンを実施しました。

NO.15

(那覇港、平良港、石垣港)



交流試合には島袋伊江村長もかけつけ、始球式を行っていただきました



交流試合。伊江村野球場は県内初の全面人工芝、両翼100mの本格的な野球場です。試合は9-2で伊江中学校の勝利!



村内観光、城山にも登りました。



26日は生憎の天候でしたが、多目的屋内練習場で充実した練習をすることができました



交流会。最初は緊張していましたが、すぐに仲良くなりました!

まとめ

今回の交流を経て、東京都市大学付属中学校、今回参加した北部地域双方の子どもたちから、「今回の経験を今後に生かしていきたい」との声が多く聞こえました。また先生方からも「伊江島の方々の温かさに感動した。ぜひまた伊江島に来たい」との声もありました。野球を続けていき、島の子どもたちとまたどこかで巡り会うことができたら素晴らしいと思いますし、また伊江島を訪れたときに、今回の経験を思い出してもらえたらいいなと思います。

今回は野球を通しての交流となりましたが、また違った形の交流も北部振興事業現地支援チームでは応援していきたいと思っています。



伊江村イメージキャラクター「タツちゃん」

なぜ東京都市大学 付属中学校が伊江島に?

東京都市大学付属中学校は東京都世田谷区にある学校です。中学校に硬式野球部があり、ボーイズリーグにも参加している数少ない学校でもあります。

一方、伊江島は高校がない島で、子どもたちは中学校卒業後、本島の高校に進学する「15の島発ち」を迎えます。高校でも野球を継続する子どもたちも多いのですが、伊江島には硬式野球のチームはなく、硬式球に触れる機会がほとんどありません。

そこで今回、野球を通して伊江島をはじめとする北部地域の中学生との交流を深めるために、東京都市大学付属中学校硬式野球部が伊江島にやってきました。



伊江島到着!役場の方々がお出迎え!

スケジュール

- 12/24 伊江島到着
- 12/25 島内観光、伊江中学校との交流試合
- 12/26 名護市・今帰仁村の中学生との合同練習、交流会
- 12/27 伊江島出発



伊江島にやってきました! 東京都市大学付属中学校硬式野球部が

いめんしより、伊江島へ!

総務部北部振興事業
現地支援チーム 田中康智